

高次脳機能障害って何？

高次脳機能障害とは、病気やケガなどにより脳に損傷を受け、記憶力や注意力、行動力などが障害された状態をいいます。

「考える」「判断する」「予測する」といった社会生活を営む上での重要な精神活動に代表される「高次な脳機能におきた障害」と言えます。

症状と対応について

現れる症状や障害の程度には個人差があり、いくつかの症状が組み合わさることが多いです。

どういった行動やタイミングで困りごとが生じているか確認し、環境を調整していきましょう。

また、脳の疲れにより、できるときとそうでないときのムラが生じることもあります。

ご本人にとってより良いやり方を、ご本人を含めた周りの方と一緒に検討していきましょう。

症状の例

記憶障害

遂行機能障害

注意障害

社会的
行動障害

見えにくい障害であること

高次脳機能障害は、一見ただけでは気付かないことが多いため、「隠れた障害／目に見えない障害」ともいわれます。外見上障害のあることがわかりにくく、周囲の理解を得られにくい状況にあるため障害を理解することや環境を調整することが大切です。

相談窓口について

各都道府県に必ず1か所以上の高次脳機能障害者支援センターが設置されています。もし高次脳機能障害のことで困ることがありましたら、ぜひお住いの地域の相談窓口にご相談されてみてください。各地の相談窓口の情報は国立障害者リハビリテーションセンターによる「高次脳機能障害情報・支援センター」のホームページに掲載されています。

愛媛県の高次脳機能障害者支援センター



松山リハビリテーション病院
高次脳機能障害支援室

所在地：愛媛県松山市高井町1211番地 連絡先：089-975-7427